

被接種者・
保護者の
方へ

HPVワクチンを接種した後の 失神と痛みに対する注意について

HPV: ヒトパピローマウイルス

お名前

様

接種時刻

時 分

時 分 まで座っていきましょう。

- 接種後に体調の変化があった場合には、すぐに医師に相談してください。

失神について

接種後にめまいやふらつき、失神などが起こることがあります。転倒してけがをしないように、次の3つの注意事項を守ってください。



1

接種後に診察室から待合室などへ移動するときには、看護師さんや保護者の方に腕をもって付き添ってもらってください。

2

接種後30分間程度は、背もたれや肘かけのあるイスなど、体重を預けられるような場所で待っててください。

3

待っている間は、なるべく立ち上がることを避け、座ってください。

気分が悪くなったり、めまいを感じたら、転倒ないようにイスにもたれかかるか、しゃがむか横になって、すぐにスタッフや医師に知らせてください。

痛みについて

接種後に、注射した部位に限らない激しい痛み(筋肉痛、関節痛、皮膚の痛みなど)、しびれ、脱力などが起こり、長くつづくことがあります。このような症状が起こった場合には適切な診療が可能な医療機関を受診いただくことが必要ですので、医師にご相談ください。



注射後に ふらつきや失神が 起こる理由

注射を打ったときの痛み、恐怖、興奮などによる刺激が脳神経のひとつである迷走神経を介して中枢に伝わり、心拍数や血圧がさがったりすることがあります。そのため、気分が悪くなったり、めまいやふらつき、失神などが起こります。これは、血管迷走神経反射とよばれ、多くの場合これが原因となり注射後の失神が起こると考えられています。

血管迷走神経反射は思春期の女性に多いという報告があります。

特に注射への恐怖心が強い方は注意が必要です。

通常は横になって安静にするだけですぐに回復しますが、
転倒してけがをしないように、
表面の3つの注意事項を必ず守りましょう。